

## GAP教育を推進、拡大しています

明野高等学校 ～三重県伊勢市～

三重県立明野高校では、お茶のJGAP認証取得に加え、東海地区の高校で初となる米を対象にGlobal G.A.P. (以下、GGAPという。) 認証を取得しました。これまでのGAP教育の取組、今後の展望等について、同校生産科学科西教諭にお話を伺いました。

当校は、平成29年7月の三重県GAP推進大会を機にGAP教育に力を入れたところ、生徒たちの関心が非常に高まり、平成29年9月には、食品科学科12名による自主的なGAPチームが発足し、平成30年3月に東海地区の高校で初の茶によるJGAP認証を取得しました。平成30年1月には、生産科学科9名が米でのGGAP取得に向けたチームを発足させ、9月に東海地区の高校で初の認証を取得しました。

認証の準備は教員の指導の下行われましたが、生徒たちは熱心に取り組みました。お茶では自主的な取組として主に放課後等に準備が進められ、お米では授業の一環でしたが、時間が足りず、放課後、夏休み等も使って準備を進めました。

GAP認証により、本校のお米が東京にある県アンテナショップ「三重テラス」で販売されるようになりました。今後、家畜でのJGAP認証の年度内の取得※、来年の東京オリパラ選手村へのお米(結びの神)の供給などをめざしていきます。※平成31年1月取得済み

生徒がGAP認証取得に向けた準備や認証後のGAPの取組を進める中で、効率的な農業経営、安全・安心な生産、環境保全、農作業安全等への生徒たちの意識向上や取組改善などの効果がありました。本校として、GAP教育を継続、拡大していくことにより、学校と地域の農業の活性化につながることを期待しています。



米のGAPチームメンバー



明野高等学校の  
Webサイトは  
こちらを  
ご覧ください